

## [朝倉地区]

### 1. 子ども、子育てについて

- 町社協のときには、母子・父子家庭の子どもと寡婦の会を対象にAceツアーを夏休みにやっていたが、地区社協の設立後は予算の関係で中止している。
- 高齢者に対しては、いろいろな取り組みがあるが母子・父子・寡婦家庭への取り組みが必要では。

### 2. 高齢者について

- ほのぼの配食を年1回、会食会を年2回実施している。
  - ・ほのぼの会食会を、春と秋に70歳以上の一人暮らしの方を対象に実施している。民生委員を中心として出席者の取りまとめや送迎を行っている。町社協のときには5回行っていたが、地区社協の設立後は2回になっている。出席者は、60名程度。
- ふれあい・いきいきサロンでは、来ていない方には今度声かけて呼ぼうかなど連携をしている。
- 一人暮らし高齢者に対して老人クラブが「愛の一声運動」で集落ごとに誰が誰に声かけをするか決め、記録を取っている。
- 「向こう三軒両隣運動」を地区社協と老人クラブ及び地区振興会(健康福祉部会)でタイアップして活動している。
- 婦人会のOBでつくっている「むつみ会」で、夏と冬に一人暮らし高齢者宅に手づくりのものをもって訪問している。
- 福祉バスが1日4回朝倉地区を回っている。他の地区を回るようになれば、回数が減るのではないかと危惧している。また医師会病院が、移動した為に来春まで運行して欲しいと希望が出ている。

### 3. 障がいのある人について

- 身体障害者福祉協会の役員になる方が、いないのが現状である。
- 地域で障がいのある人が、どこにだれが住んであるかわからない。

## [杷木地区]

### 1. 子ども、子育てについて

- 学童保育は、10年以上前に保護者・住民・行政が一緒になって杷木小学校に開設した。杷木地域には他に小学校が3校あるが、他地区から学童保育へ通うにはタクシーを利用している現状である。福祉バスが必要では。
- アンビシャス広場は3月で中止となったため、放課後の子どもの遊び場がない。アンビシャス広場をどこかに開設してもらえないか。
- 小さい子どもを育てる母親の交流の場であるつどいの広場は、甘木の寿楽荘にしかない。らくゆう館に専門員を派遣してもらい週1回でもいいので開設してもらえないか。

## 2. 高齢者について

- ほのぼの配食は年7回、会食会を年2回実施している。
  - ・対象者は、75歳以上の一人暮らしや二人暮らしの方。
  - ・調理は、民生委員・児童委員やボランティアグループ「配食ボランティア」が行っている。
  - ・配達は、民生委員・児童委員が安否確認を兼ねて行っている。
- 合併後、市社協が遠くなったと感じている。現在ボランティアをしている11名が高齢者であり、市社協の職員が杷木に時々常駐して支援が欲しい。
- 「ふれあい・いきいきサロンだより」を中身のあるものにして欲しい。2年くらい訪問していないサロンもある。テーマを持ち、みんなに訴えかけるサロンが欲しい。
- 認知症の行方不明者が出たので、地域の人みんなで探した。翌日無事に発見、サロンを続けて、みんなが福祉の心を持っていたからではないか。サロンにも年2回、子どもとのふれあいの場を設けている。
- 私たちが、地域でどういう活動ができるのか考えて、それを積み上げて意識革命をして自分たちの地域でできることをやろう、できるかできないかは別として、自分たちの地域の掘り起こしをすることが活性化になると思う。
- 行政は、枠組みづくりには熱心だが、現実問題としてすすまないことが多い。掲げられている理念と地域福祉の現実の間にズレが生じているのでは。たとえば、老人福祉センターなどの使用について硬直化しつつあるようなことがあってはならない。
- 合併により社会福祉法人格がなくなり、地区社協が住民に何をするかというものもあり、地域福祉活動支援計画要綱を作成した。これから、徐々に共助の精神で広めていくようにしたい。

## 3. 障がいのある人について

- 障がい児の学校通学手段がなく、家族が送迎をしている。(1日2時間から3時間程度)
- 朝倉市に、今年から通級学級(教室)ができると期待していたができなかった。
- 朝倉市内に、障がい者施設(養護学校、短期入所施設、療育可能な病院)が少ないので、検討して欲しい。
- 身体障害者福祉協会の会員数は、杷木地区は甘木・朝倉地区より比率が高い。会員が協力していかなければいけないという気持ちになっている。
- 障がい者の方へは、情報がなかなか伝わらないのでどうにか検討が必要では。

### (3) 高齢者組織対象の地域福祉活動会議の経緯

老人クラブを対象として、愛のネットワーク事業や愛の一声運動などについての地域福祉活動会議を開催しました。会議の開催及び参加者数については、以下のとおりです。

開催日	老人クラブ支部	会場	参加者数
10月1日	老人クラブ上秋月支部	上秋月公民館	22人(男性 16、女性 6)
10月2日	老人クラブ馬田支部	馬田公民館	24人(男性 13、女性 11)
〃	老人クラブ蜷城支部	蜷城公民館	23人(男性 13、女性 10)
10月3日	老人クラブ三奈木支部	三奈木公民館	11人(男性 8、女性 3)
〃	老人クラブ福田支部	福田公民館	18人(男性 14、女性 4)
10月6日	老人クラブ金川支部	金川公民館	22人(男性 17、女性 5)
10月15日	老人クラブ佐田支部	佐田公民館	10人(男性 3、女性 7)
10月24日	老人クラブ甘木支部	ピーポート甘木	1人(老人クラブ支部長)
11月5日	老人クラブ立石支部	立石公民館	11人(男性 9、女性 2)
〃	老人クラブ秋月支部	秋月公民館	15人(男性 8、女性 7)
11月11日	老人クラブ朝倉支部	朝倉老人福祉センター	29人(男性 19、女性 10)
11月12日	老人クラブ杷木支部	杷木老人福祉センター	21人(男性 17、女性 4)
		参加者数	207人(男性138、女性 69)

### (4) 高齢者組織対象の地域活動会議のまとめ

#### [上秋月支部]

- 普段外にいる時は会話ができるが、家にいるときはなかなか行きにくい。
- 近所の方をお願いして安否確認をしてもらっている。
- 男性は、女性宅へ訪問しにくい。近所の人に訪問をお願いしている。
- 毎日訪問するわけではないが、日ごろから気をつけているので同じ生活をしていれば、何か違えばわかる。
- 目配りするのが大事、週に1回のグランドゴルフに参加していないときにどうしたのか尋ねている。
- お宮掃除のときに集まって、安否確認を含めていろいろな話をしている。また、高齢者の一人暮らしや二人暮らしの方を訪問して喜ばれている。

- 常会があるときに、どうされているかを確認している。

#### [秋月支部]

- お宮掃除のときに、情報交換をしている。情報をもとに家の前を通ったときには、声かけをしている。迷惑がられる方もいるのでどこまで踏み込んでいいのかが分らない。
- ふれあい・いきいきサロンを開催しているので、参加していない方については、安否確認を行っている。
- 老人クラブの加入率は、おおよそ90%である。

#### [甘木支部]

- 声かけ運動について、あまり世話が行き過ぎるとプライバシーの問題がある。
- 「クラブだより」を発行し、安否確認を含めて配布している。また、行事の呼びかけの際にも安否確認をしている。
- 老人クラブに入っていない方が50%を超えている。老人クラブが把握している一人暮らしや二人暮らしの方と民生委員が把握している一人暮らしや二人暮らしの方が合っていないので何らかの方法で連携をしていかないといけない。
- 全国一斉社会奉仕の日にそれぞれの単位クラブで、空き缶拾いなどに取り組んでいる。

#### [馬田支部]

- 高齢者の一人暮らしや二人暮らしの方や体の弱い方を含めて目配りして安否確認をしている。
- 隣の家の電灯がついているか、また洗濯物が干してあるかを毎日確認している。
- お茶のみ会に毎回来る人は決まっている。参加しない方は、近所の方に聞くと元気であるが家に閉じこもりがちである。
- 病院代よりタクシー代が高くなるが、送迎すると事故が起きた時の責任があるので、手助けしにくい。
- 高齢者学級は、多くの参加者があり好評であった。会場までの交通手段の確保が問題である。

#### [立石支部]

- 地区によっては、転入されてきた方が非常に多いので、隣近所の付き合いが薄い。お宮掃除のときに、空き缶拾いもしている。新しく入ってこられた方は、老人クラブになかなか入らないのが現状である。
- お宮掃除は、元気な人しかこない。2人1組で月1回、一人暮らしの方を訪問している。

### [福田支部]

- 毎月、お宮掃除などが小地域で行われている。その後、懇親会で情報交換をしている。
- 訪問は、男性宅には男性が、女性宅には女性が訪問している。
- 移動に関しては、各家庭に自家用車があり家族間で調整しているので、それほど困った問題はない。
- 一人暮らしや二人暮らしの方の安否確認の一つの方法として、夜の家庭内の電灯がついているかどうかで確認している。

### [蜷城支部]

- 日常は、隣近所であいさつ。毎月1回のお宮掃除のときに、情報交換を行っている。その後、懇親会を行っている。
- 愛の一声運動は、小部落ごとにチェックしている。地区公民館と老人クラブがタイアップして実施しており、ベストを着て活動している。のぼり旗、帽子も準備している。
- 訪問しても、耳が遠くて聞こえない方がいて困っている。
- お宮掃除などは、小部落単位で行われている。
- 助っ人マンについては、申し込みに関して地区公民館へ連絡せず、個人に直接連絡することがあり、予定があって断りにくい。

### [金川支部]

- 入院してある高齢者の方は、老人クラブ支部の役員が病院を訪問している。
- 直接、家を訪問していないが、道で会ったときに声かけをして話をしている。
- お宮掃除の後に、お茶のみ会を行っている。参加者は、普段家族と一緒にいても話す機会が少ないので喜ばれている。
- お大師様、3班に分かれて女性会員が参られる方を接待する。その後に、一人暮らしの高齢者に訪問する。
- 老人クラブの役員に関して、年功制になっているので、役員が若い会員の面倒をみらなければならぬのはきつい。

### [三奈木支部]

- 高齢者の一人暮らしや二人暮らしの方は、家の周りで声をかける責任者を決めている。毎朝挨拶をして、記録をとっている。
- 「敬老の日」の前後の一週間をボランティア活動の日としている。
- 毎月、お宮掃除などが小地域で行われている。その後、懇親会で情報交換をしている。
- 緑寿大学(老人クラブ事業)で、毎月多彩な講師を呼んで研修会を実施している。

### [佐田支部]

- 常日頃の簡単な声かけ、世間話をしている。
- お宮掃除などが小地域で行われている。その後、懇親会で情報交換をしている。
- 巡回診療があるときに、集まってくるので、老人クラブの役員会もそれに合わせて実施することもある。
- 地形的に離れている家もあるので、訪問すると喜ばれる。
- 声かけは、何回もしなくていいという人やあまり声かけしないと、逆に連絡がなかったといって怒る人もいる。

### [朝倉支部]

- 愛の一声運動は、記録をとって最後にまとめている。
- 訪問は、男性宅には男性が、女性宅には女性が訪問している。
- お宮掃除のときに、安否確認をしている。
- 老人クラブの加入率は、おおよそ90%程度。集落によっては、全員加入の地区もあるが、住宅地の場合は、加入率が低いところがある。

### [杷木支部]

- 老人クラブ支部が一体となって、愛の一声運動をすすめている。
- お互いが助け合っていくものなので、あまり相手を刺激しないように、ちょっとした声かけで寂しさをまぎらわせるとか、あまり深く立ち入らないところがいいのでは。
- 老人クラブの加入率は、徐々に減少してきている。老人クラブよりふれあい・いきいきサロンの方がいいという人がいる。また、会費も問題になっている。
- 最近、病院に入院して感じたことだが、家族が誰も見舞いに来ない。いつも一人で虚しさを感じた。そういう人に対して愛の一声が必要では。
- 高齢者だけに目を向けるのではなくて、子どもにも目を向けることで自然と両親や祖父母などの高齢者との関わりが出てくるのでは。

## 地区社会福祉協議会 所在地 (朝倉地区・杷木地区は計画書のP8に掲載)

### ■上秋月地区社協

〒838-0019  
福岡県朝倉市上秋月1732番地1  
上秋月公民館内  
Tel/Fax 0946-25-0457  
E-mail:kamiakidukikou@city.asakura.lg.jp



### ■秋月地区社協

〒838-0001  
福岡県朝倉市秋月670番地  
秋月公民館内  
Tel/Fax 0946-25-0458  
E-mail:akidukikou@city.asakura.lg.jp



### ■安川地区社協

〒838-0016  
福岡県朝倉市下湊737番地  
安川公民館内  
Tel 0946-22-2017  
Fax 0946-21-3297  
E-mail:yasukawakou@city.asakura.lg.jp



### ■甘木地区社協

〒838-0068  
福岡県朝倉市甘木770番地3  
甘木公民館内  
Tel/Fax 0946-22-2117  
E-mail:amagikou@city.asakura.lg.jp



### ■馬田地区社協

〒838-0058  
福岡県朝倉市馬田1286番地  
馬田公民館内  
Tel 0946-22-2140  
Fax 0946-26-4163  
E-mail:madakou@city.asakura.lg.jp



### ■立石地区社協

〒838-0064  
福岡県朝倉市頓田205番地1  
立石公民館内  
Tel/Fax 0946-22-2101  
E-mail:tateishikou@city.asakura.lg.jp



■福田地区社協

〒838-0052  
福岡県朝倉市小隈219番地1  
福田公民館内  
Tel 0946-22-2158  
Fax 0946-21-3788  
E-mail:fukudakou@city.asakura.lg.jp



■蜷城地区社協

〒838-0037  
福岡県朝倉市林田242番地  
蜷城公民館内  
Tel/Fax 0946-22-3004  
E-mail:hinashirokou@city.asakura.lg.jp



■金川地区社協

〒838-0031  
福岡県朝倉市屋永3266番地  
金川公民館内  
Tel/Fax 0946-22-2242  
E-mail:kanagawakou@city.asakura.lg.jp



■三奈木地区社協

〒838-0023  
福岡県朝倉市三奈木4260番地  
三奈木公民館内  
Tel/Fax 0946-22-3114  
E-mail:minagikou@city.asakura.lg.jp



■高木地区社協

〒838-0072  
福岡県朝倉市黒川3968番地2  
高木公民館内  
Tel/Fax 0946-29-0750  
E-mail:takagikou@city.asakura.lg.jp



■美奈宜の杜地区社協

〒838-0020  
福岡県朝倉市美奈宜の杜5丁目12の20  
美奈宜の杜コミュニティセンター内  
Tel 0946-21-1600  
Fax 0946-21-1721  
E-mail:info@minaginomori.com



## 朝倉市地域福祉活動計画

第1期(平成21年度～25年度)計画

---

発行年月 平成21年6月

発行 社会福祉法人 朝倉市社会福祉協議会  
福岡県朝倉市甘木198-1  
ピーポート甘木 保健福祉センター内  
TEL:0946-22-7834  
FAX:0946-21-0166

印刷 株式会社 四ヶ所  
福岡県朝倉市馬田336